

一般社団法人 日本専門医機構
第5期第3回理事会 議事概要

1. 開催日時 2022年8月19日（金） 16時00分～18時20分
1. 開催場所 日本専門医機構会議室（会場およびWEB会議）

I. 第2回理事会（7月15日開催）議事録の確認

渡辺理事長より、第2回理事会（7月15日開催）の議事録の確認が行われ、問題がある場合は申し出ていただくこととした。

II. 協議事項

1. 委員会の委員候補について

渡辺理事長より、第5期における各委員会の委員長・委員候補者について諮られ、名簿に記載の漏れていた1名を追加のうえ、承認された。

なお、研修検討委員会（プログラム等）および専門医検討委員会（認定・更新）については、現在、各基本領域学会に委員選出を依頼中であり、次回理事会にて審議予定である。

また、理事会に先んじて運営委員会（委員会およびワーキンググループの委員長で構成）が開催されること、理事及び監事が担当外の委員会を傍聴する際は原則として委員長の承認を必要とすること、各委員会において委員追加を行う際は委員長及び担当理事の了承のうえで理事会承認を必要とすること等の説明がなされた。

2. 研究医養成に関するワーキンググループ

(1) 臨床研究医コース責任医療機関審査について

金井理事より、2023年度の臨床研究医コースの責任医療機関について、各基本領域学会の審査の後、金井理事（委員長）の承認を経た11領域56施設が諮られ、承認された。

3. 専門医認定・更新委員会

(1) 機構専門医認定・更新二次審査について（内科・眼科）

森理事より、機構の定めた認定基準に基づき学会の一次審査に合格した内科（2名）、眼科（19名）の専攻医について、委員会での二次審査の結果、機構認定専門医として新規認定したことが報告され、承認された。内科の2名はCOVID-19措置対象で修了要件を満たした者の追加申請である。

(2) リハビリテーション科2021年度認定取り消しについて（4名）

森理事より、リハビリテーション科で2021年度に機構認定専門医となった56名のうち4名が利用していたとされるダブルボードが機構未承認であったことをうけて、この4名の認定を取り消したことが報告され、承認された。該当4名については学会認定専門医とし、初回更新時に機構認定専門医に移行することとする。

(3) 泌尿器科専門医更新基準V11 改訂(案)

森理事より、泌尿器科における専門医更新基準の改訂が報告され、承認された。

4. サブスペシャルティ領域検討委員会

(1) サブスペシャルティ領域のプログラムシステム申請について

1) 「専門研修プログラムシステム」での申請について（実演）

事務局より、サブスペシャルティ領域のプログラム申請について、システムを使用した実演による説明が行われた。

2) 申請項目について

事務局より、サブスペシャルティ領域のプログラム申請で入力を求める項目について、2021年12月に開催された第4期第19回理事会において承認された内容が説明された。

3) 各サブスペシャルティ領域との説明会におけるご意見について

事務局より、8月9日～19日に行ったサブスペシャルティ領域との説明会において、各領域から寄せられた意見をまとめた資料が提示された。

4) 内科学会、外科学会からの申入書に対する対応について

渡辺理事長より、内科系サブスペシャルティ領域学会および内科学会連名（8月10日付け）で、外科系サブスペシャルティ領域学会および外科学会（8月19日付け）連名で、機構システム登録についての申入書が寄せられたことが報告された。

事務局より、内科系サブスペシャルティ領域学会および内科学会からの申入書に対する回答案（事務局案）が説明され、意見交換が行われた。

最終的に、内科系サブスペシャルティ領域学会および内科学会への回答書案については、本日の理事会で出された意見を踏まえ、修正することとした。

5) 8月27日統括責任者向け説明会の実施について

事務局より、8月27日に基幹施設を対象として、YouTubeを用いたネット配信による説明会を行うことが説明された。

6) システム要件検討ワーキンググループの新設について

渡辺理事長より、専門研修プログラムシステムに関する課題、要望などを整理し、システム要件について検討するワーキンググループを設置することが提案され、承認された。

Ⅲ. 報告事項

1. 各種委員会報告

(1) 広報委員会

浅井理事より、新任理事を対象とした研修会を8月3日に開催したこと、欠席した理事も録画で視聴することが可能であることが報告された。

(2) 専門医認定・更新委員会

森理事より、麻酔科領域における本来は認めていない学会認定専門医から機構認定専門医への更新の前倒しについて、麻酔科学会作成の「学会専門医の次期更新申請に関する変更について」の通り確実に履行いただくことを条件に特例として認めることが報告された。

また、放射線科領域において、COVID-19感染あるいは蔓延により認定試験を受験できなかった場合で次年度の試験に合格した者は、前年度からの専門医資格を認める措置をとることが報告された。

なお、進捗が遅れている専門医システム開発については、8月第4週から一部の学会の協力を得て試験的に運用を開始すること、混乱を回避するため直近ではなく5年後の更新時での登録を必須とする旨の周知を行うこと、登録の情報、仕様等については委員会で検討を進めていくことが報告された。

(3) 共通講習委員会

木村理事より、第5期編集会議の議員名簿が示された。

(4) 地域医療・定員問題検討委員会

事務局より、8月8日に開催された全国知事会社会保障常任委員会第3回医師養成に係るワーキングチーム会議において、当機構としての2023年度専攻医募集シーリングの案を説明し、意見交換を行ったことが報告された。

2. その他

(1) 各委員会の引継ぎについて

渡辺理事長より、各委員会の前期活動内容について整理した資料の作成を事務局で進めていること、各委員会の第1回には可能な限り前委員長の出席を求め冒頭に引継ぎの時間を設けることが望ましいことが報告された。

(2) 次回（8月22日）定例記者会見について

浅井理事より、次回の定例記者会見を8月22日に開催すること、次第内容は第5期の各委員会の委員長について、および臨床研究医コースの募集についてとすることが報告された。

IV. その他

複数の理事および監事より、機構の専門医制度、特にサブスペシャリティ領域について各領域学会から様々な意見が出ていることに関して、理事会での議論を慎重に行い、決定すべきところは先送りせずに決定すべきであるという意見が出された。

また、定例の理事会では時間が限られるため、別途議論する場を設けるべきという意見、事務局の体制を強化し学会や関係機関とのコミュニケーションを深めるべきという意見も出された。

今後の会議予定

- ・第5期第4回理事会 2022年9月16日（金）16時00分～18時00分

以上